

「SDGsから郡山の未来を考えるワークショップ」分析結果（抜粋）

国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室の速報をもとに作成

分析の主旨

第3回ワークショップ（2018.11.27実施）にて、参加者より提案された「郡山市の地域課題を解決するための行動・活動のアイデア」を2018.12.26時点で集約・整理し、SDGsの各目標との関連性を示した。

分析手法

第3回ワークショップのホワイトボード記録から、90のアイデアを抽出し、類似するアイデアを集約した上で、SDGsの17のゴールと関連づけた。

右図は、提案されたアイデアの数を、ロゴ・文字・線のサイズによって図示したもの。

分析結果の概要

- ◆参加者のアイデア総数の上位3分野は、「健康・福祉」「気候・エネルギー」「圏域の活性化」であった。
- ◆参加者のアイデア総数の上位SDGs3目標は、「8. 仕事・経済」「11. 都市」「13. 気候変動」「17. 協働」（13・17は同数）であった。



※ロゴの大きさは各目標に貢献するアイデアの数、各ゴールと集約したアイデアのグループを繋ぐ線の太さは双方に関連するアイデアの数、分野の文字の大きさはアイデアが全ゴールに貢献する数の総計を表す。

